



政治経済  
社会科学  
...

新聞・雑誌に掲載された最新のトピックス、時事問題、社会課題...

新聞・雑誌で日本語を学ぼう

# 日本報刊

文章  
选读



華東理工大學出版社  
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

季林根 张建华 © 编著



社会・政治・経済・科学...



政治経済  
社会政治

新聞・雑誌に掲載された最新のトピックス、時事問題、社会課題...

新聞・雑誌で日本語を学ぼう

# 日本報刊

## 文章選读



華東理工大學出版社  
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

季林根 张建华 ◎ 编著



社会・政治・経済・科学...

**图书在版编目(CIP)数据**

日本报刊文章选读/季林根, 张建华编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2011. 8  
ISBN 978-7-5628-3061-0

I. 日... II. ①季...②张... III. 日语-阅读教学-高等学校-教材 IV. H369.4  
中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 150640 号

## 日本报刊文章选读

---

编 著 / 季林根 张建华

责任编辑 / 王 娟

责任校对 / 陈孟昀

封面设计 / 裘幼华

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地 址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电 话: (021)64250306(营销部)

(021)64250787(编辑室)

传 真: (021)64252707

网 址: [press.ecust.edu.cn](http://press.ecust.edu.cn)

印 刷 / 常熟新骅印刷有限公司

开 本 / 710mm×1000mm 1/16

印 张 / 14.5

字 数 / 311 千字

版 次 / 2011 年 8 月第 1 版

印 次 / 2011 年 8 月第 1 次

书 号 / ISBN 978-7-5628-3061-0/H·1112

定 价 / 35.00 元

(本书如有印装质量问题, 请到出版社营销部调换。)

如您对本书有任何建议, 请联系: 941487073@qq.com

# 前 言

日本报刊文章选读是高等院校日语专业高年级的必修课程,开设的目的是:培养和提高学生对日语报刊的阅读和理解能力,丰富词汇量,帮助学生及时掌握有关日本各方面的最新信息,加深对日本的了解。本书作为此课程的教材,在编写时,尽量选取了反映日本各方面最新情况的文章,内容涉及日本的政治、经济、文化、社会 and 科技等各个方面。本教材供高等院校日语专业三年级学生使用,也可以作为日语专业自学考试中相应课程的教材使用。

本书每课的设计课时为 2 课时,按每学期 16 周计算,可以满足一个学年的教学需求。本书共选用了 42 篇文章,分为上篇和下篇。每课由课文、单词表、注释、思考问题和参考译文等部分构成。教师可以按照《高年级日语教学大纲》的要求和考核的内容,有选择地开展教学活动,剩余部分作为学生课后学习之用。

本书由上海外国语大学日本文化经济学院季林根教授和张建华副教授共同编写。在编写过程中,得到了日本文化经济学院领导的关心和支持,贤达经济人文学院的青年教师王盈、硕士研究生李增、赖晓莉、周一磊和尹淑君也给予了我们许多帮助。在此,一并表示由衷的感谢。

由于水平有限,时间仓促,在选材、编写、注释和翻译等方面难免存有不足之处,敬请各位同仁批评指正。

编 者

2011 年 5 月

# 目 录

## 上 篇

|      |                                                  |    |
|------|--------------------------------------------------|----|
| 第1課  | 新聞のコラム .....                                     | 2  |
| 第2課  | 東京が世界の未来を拓く .....                                | 9  |
| 第3課  | 臨床政治学 永田町のウラを読む .....                            | 14 |
| 第4課  | 成人の日に考える 人は一日にして成らず .....                        | 17 |
| 第5課  | 年功序列から成果主義賃金へ<br>——日本郵便大リストラの裏側 .....            | 20 |
| 第6課  | 日本経済再生 閉塞感の打破へ政策を転換せよ .....                      | 23 |
| 第7課  | 政治混迷と日本経済——大停滞をどう克服する .....                      | 27 |
| 第8課  | 中国版GPSを民間開放 .....                                | 31 |
| 第9課  | 内需主導へ転換 .....                                    | 33 |
| 第10課 | 日本のサラリーマンはもっと経費を請求しても良いくらいだ<br>.....             | 35 |
| 第11課 | 日本の「コンテンツ敗戦」は近い！？ .....                          | 38 |
| 第12課 | なぜ北京の空気はきれいになったか .....                           | 42 |
| 第13課 | 家の照明、LEDは本当にメリットがあるか .....                       | 46 |
| 第14課 | あまりに低イリニアの経済効果 .....                             | 49 |
| 第15課 | 「週刊誌が不況を救う？」<br>——デフレ時代を生き抜く激裏情報を暴き出す！ .....     | 53 |
| 第16課 | 超高齢社会——新しい“縁”をみんなで創ろう .....                      | 57 |
| 第17課 | 医師を増やすな！？ ——全国の大学病院長らが医学部<br>新設反対の“声明文”を公表へ..... | 60 |
| 第18課 | 親の経済力と子どもの学歴の相関関係 .....                          | 64 |

|        |                                               |    |
|--------|-----------------------------------------------|----|
| 第 19 課 | 就活のミスマッチをもたらす「日本的雇用慣行」という幻想 <sup>げんそう</sup> … | 68 |
| 第 20 課 | 目を覚ませ大学生——就職難 <sup>こうじようか</sup> は恒常化？ ……………   | 71 |
| 第 21 課 | 就職「新」氷河期 <sup>ひようがき</sup> ——親も知らない就活の真実 …………… | 74 |

## 下 篇

|        |                                                                                             |     |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 第 22 課 | 日本人ノーベル賞受賞者 <sup>じゅしやうしや きせき</sup> の軌跡 ……………                                                | 78  |
| 第 23 課 | 自衛隊内性的暴行事件 <sup>ぼうこう</sup> で勝訴 <sup>しょうそ</sup><br>——女性自衛官への性暴力 <sup>せいぼうりよく</sup> 認める …………… | 81  |
| 第 24 課 | 万博公園冬景色——アジアの未来を示す街に ……………                                                                  | 84  |
| 第 25 課 | 一流の寿司職人 <sup>しよくにん</sup> を目指し海外からの留学生が急増中！ ……………                                            | 88  |
| 第 26 課 | 漁師 <sup>りようし</sup> に「転職」した人 「こんなに充実した人生になるなんて…」<br>……………                                    | 91  |
| 第 27 課 | なぜ、20 代高学歴女子は「専業主婦」狙いなのか ……………                                                              | 94  |
| 第 28 課 | 「結婚の条件」<br>——0.4%の高収入男をめぐる、独身女性の戦い ……………                                                    | 97  |
| 第 29 課 | 大家族が活力源 <sup>かつりよくげん</sup> ——女性就業率トップ福井 ……………                                               | 103 |
| 第 30 課 | 東北沖大地震 救出、復旧に総力挙げよ ……………                                                                    | 106 |
| 第 31 課 | 撤去できぬ漂着物 <sup>てつきよ</sup> 、復興の壁 <sup>ひようちやくがつ</sup> ——法の弾力運用必要 <sup>ふっこう</sup> ……………         | 110 |
| 第 32 課 | 気仙沼漁港 <sup>けせんぬま</sup> 、再興へ課題山積み <sup>さいこう</sup> も「やれることやる」 ……………                           | 113 |
| 第 33 課 | 高収入でも危機感！ ——妻を戦力化 <sup>せんりよくか</sup> する方法 ……………                                              | 115 |
| 第 34 課 | 妻が仕事を持つと変わる夫婦の力関係 ……………                                                                     | 118 |
| 第 35 課 | 寝室は別々、会話はツイッター、「ただトモ」夫婦増殖 <sup>ぞうしよく</sup> 中 ……………                                          | 120 |
| 第 36 課 | 正念場の百貨店 <sup>しょうねんば</sup> ——街の核 <sup>かく</sup> として存在感の発揮を ……………                              | 124 |
| 第 37 課 | 地デジ移行、京都は「遅デジ」<br>——多い町家 <sup>ちようか</sup> 、共同受信施設 <sup>じゅしん</sup> の対応進まず ……………               | 128 |
| 第 38 課 | 家庭用のお米がそのままパンになる<br>——海外展開も視野に入れた「GOPAN」 ……………                                              | 131 |
| 第 39 課 | 間伐材使用 <sup>かんばつざい</sup> の舗装 <sup>ほそう</sup> で環境貢献 ……………                                      | 134 |



|        |                                                                   |     |
|--------|-------------------------------------------------------------------|-----|
| 第 40 課 | “女子ラーメン”が急増の理由 .....                                              | 136 |
| 第 41 課 | 歯磨き、健康・美容にもこだわる .....                                             | 140 |
| 第 42 課 | ネイルに付け <sup>まつげ</sup> 若い母親の「味方」 <sup>みかた</sup> 日本ギャルママ協会<br>..... | 143 |

## 附录

|               |     |
|---------------|-----|
| 1. 参考译文 ..... | 145 |
| 2. 单词索引 ..... | 217 |

---

# 上 篇

---



## 第1課 新聞のコラム

### (一)天声人語

寒<sup>さむ</sup>がり<sup>が</sup>が3階建てアパートに入るなら、暖<sup>だん</sup>かい2階がお勧めだ。その暖<sup>だん</sup>はしかし、上<sup>じょう</sup>下<sup>げ</sup>に人が住む面倒と引き換えになる。天井<sup>てんじょう</sup>の物音<sup>ものおと</sup>には、遠慮<sup>くじょう</sup>がちに苦情<sup>くじょう</sup>を言うか、我慢<sup>さむ</sup>するか。ではこちらもと騒<sup>さわ</sup>げば、床下<sup>ゆかした</sup>から文句<sup>ぶんこう</sup>が来る。

部課長<sup>しんろう</sup>の心労<sup>しんろう</sup>を引くまでもなく、とにかく「真ん中」は難しい。産業界なら、上<sup>し</sup>から仕入<sup>い</sup>れて下<sup>した</sup>に売<sup>う</sup>る、原料<sup>げん</sup>と最終製品<sup>さいしゅうせいひん</sup>をつなぐ素材<sup>そざい</sup>メーカーである。板挟<sup>いたばさ</sup>みの悲哀<sup>ひあい</sup>を減<sup>げん</sup>じるには、大きくなるのも手だ。

鉄鋼首位の新日本製鉄と3位の住友金属工業が、来年秋に合併したいと発表した。鉄鉱石<sup>てんこうせき</sup>や石炭<sup>せきたん</sup>を商<sup>あきな</sup>う川上<sup>かわかみ</sup>の企業は巨大化で勢<sup>あば</sup>いを増し、川下<sup>かわしも</sup>の客<sup>きやく</sup>、自動車や家電業界の物言<sup>ものごと</sup>いもきつい。上に暴<sup>あば</sup>れられ、下からねじ込まれての「2階」の決断<sup>けつだん</sup>であろう。

新日鉄は車づくりに欠かせぬ特殊鋼板<sup>とくしゅこうばん</sup>などに強く、住金は油送<sup>あぶ</sup>に使う継ぎ目なし鋼管<sup>こうかん</sup>が得意。板と管の技<sup>わざ</sup>を持ち寄り、国内<sup>こく内</sup>の消耗戦<sup>しょうもうせん</sup>を脱<sup>だつ</sup>して、世界2位クラスの規模<sup>きぼ</sup>で新市場<sup>しんしじょう</sup>に挑む。いわば「日本代表」の戦略<sup>せんりゃく</sup>らしい。

関門<sup>かんもん</sup>は、国内市場<sup>こく内しじょう</sup>の寡占<sup>かせん</sup>に目を光らせる公正取引委員会だ。合併話<sup>がっぺいわ</sup>が持ち上がるたび、公取<sup>こうとり</sup>は厳<sup>げん</sup>しくシェア<sup>しや</sup>を吟味<sup>ぎんみ</sup>し、「オールジャパン」<sup>はい</sup>を排<sup>はい</sup>してきた。今回は国際競争<sup>こくさいきょうしよ</sup>や国益<sup>こくえき</sup>をにらんで、大所高所<sup>たいしよこうしよ</sup>の計らい<sup>けいらい</sup>が望まれる。

産業のワールドカップを戦える日本企業は、業界ごとに1社か2社。不出場の分野も増えよう。それゆえ世界で勝ち進める「鉄の結束」は大切だが、日本での雇用<sup>こゆう</sup>や納税<sup>し</sup>に資<sup>し</sup>すればこそその応援だ。企業に国籍<sup>こくせき</sup>があるなら、どの階<sup>かい</sup>の住人<sup>じゅうにん</sup>だろうが、その限りで意味がある。

2011年2月5日『朝日新聞』

### 単語

心労(しんろう)

【名・自サ】操心, 担心

板挟み(いたばさみ)

【名】夹在中间, 不知如何是好; 左

|                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| ねじ込む(捻じこむ)         | 右为难                      |
| 継ぎ目なし鋼管(つぎめなしこうかん) | 【自五】抱怨; 谴责               |
| 目を光らせる             | 【名】无缝钢管                  |
| オールジャパン            | 【惯】(目を光らす)严密监视           |
| 排する(はいする)          | 【名】全日本                   |
| 大所高所(たいしょこうしょ)     | 【他サ】推开; 排列               |
| 資する(しする)           | 【名】从大处、高处着眼, 不拘泥细节; 高瞻远瞩 |
|                    | 【自サ】有助于……; 对……有益         |



## 注 釈

### ① 天声人語

朝日新聞の早报第1版上长期连载の专栏, 1904年刊登了第1期。专栏中的文章由朝日新聞の评论员执笔, 就当前的新闻和话题, 从不同于社论的角度加以分析。

### ② 公正取引委員会

公正交易委员会。日本内閣府外設局之一, 成立于1947年7月1日。为实现《禁止垄断法》的目的而设立的行政机构, 具有准司法的功能。



## 思考問題

1. 「真ん中」は難しいと筆者は具体的な例をあげたが、その例を書きなさい。
2. 「大所高所の計らいが望まれる。」とあるが、筆者は何を言いたいか。

## (二) 余録: 休眠打破

冬来りなば春遠からじ。北の地域ではまだドカ雪との格闘が続くが、南からは梅の開花便り。これから長い列島を時間をかけて春が上りゆく。そのかすかな気配を読み取るのもまた 趣 がある。

そういえば桜の木々の色合いが変わりつつある。黒っぽかった寒色系の幹や枝がいつのまにか薄茶っぽい暖色系になった。近寄って見ると、かわい

らしい花芽<sup>はなめ</sup>があちこちに吹き出し、日々膨らみを増している。

「休眠打破」という言葉がある。前年の夏に形成された桜の花芽がいったんは「休眠」状態となるが、冬の低温にさらされることで、眠りからさめ、開花の準備を始めることである。面白いことに、この低温期間が半端<sup>はんぱ</sup>だといい花芽ができない。きっちり一定期間寒さに耐えねば美しい開花は望めないのである。

さて、我が国の政治の春はいかばかりの気配だろうか。開花予想どころか、早々と「3月危機」「4月危機」<sup>けんてん</sup>が喧伝<sup>けんてん</sup>されている。確かに、衆参のねじれを克服する数のメドがたたず、マニフェストの修正という党派としての自己否定を迫られ、しかも、消費税増税<sup>そうぜい</sup>という重い課題<sup>せ</sup>を背負<sup>お</sup>った菅政権はまだいてつくばかりの厳冬にある。

ただ、桜の例でいえば、大事なのはこの厳しい寒さから逃げずにひたすら耐え抜くことである。むしろ、もろ肌を脱いで寒さに全身をさらしてもいい。そうでもしなければ、これだけの借金に平然としているこの国の休眠状態は打破できないかもしれない。

今年はやや早めに桜が咲く、という。平年より厳しい寒さ<sup>かくせい</sup>に覚醒<sup>かくせい</sup>した芽が見事な花をつけるだろう。それに負けず劣らずの開花を政治の世界にも求めたい。

2011年2月6日『毎日新聞』

## 単語

ドカ雪(どかゆき)

【名】大雪

いかばかり

【副】怎样, 如何, 多么

マニフェスト(manifest)

【名】宣言, 宣言书

いてつく(凍て付く)

【自五】上冻, 结冰

もろ肌を脱ぐ(もろはだをぬぐ)

【词组】露出上半身; 全力以赴, 竭尽全力

負けず劣らず(まけずおとらず)

【副】不分上下; 不分优劣



## 注釈

### ① 余録(よろく)

毎日新聞の早报第1版上长期连载的专栏, 类似于朝日新闻的《天声人语》。

## ② 衆参のねじれ

“衆参のねじれ”は“衆参ねじれ国会”の略語。2010年7月、民主党在参议院选举中失败后,造成了在众议院拥有过半数席位、而在参议院拥有不到半数席位的局面,即执政党和在野党各占据众参两院的“扭曲国会”现状。

 思考問題

1. 菅政権にとっての「厳冬」とは、どんなものなのか。
2. 文中の「休眠状態」について考えなさい。

(三) よみうり寸評<sup>すんぷよう</sup>

あまりにもあけっぴろげなメールのやりとり。八百長<sup>や おちよう</sup>の動かぬ証拠だ。少なくとも、この限りでは日常化していたこともうかがえる。

これではかつての米大リーグの八百長・ブラックソックス事件のように「うそだと言ってよ、ジョー」と叫びたいファンも叫びようがない。事実関係を認めた力士<sup>りきし</sup>も出て、事態はいよいよ深刻だ。

日本の伝統文化である大相撲の担い手という自覚のかけらもない。そんな力士の存在が情けない。即刻解雇<sup>そつこく</sup>の声が上がったのも当然。解雇以上の除名<sup>えいきゅうついほう</sup>、永久追放<sup>あたい</sup>に値する。

早々にNHKの福祉大相撲、フジTVの大相撲トーナメントの中止が決まった。春場所<sup>はる ばしょ</sup>の中継、いや開催そのものも危惧<sup>きぐ</sup>される。公益法人の資格も危うい事態だ。

八百長は質的にこれまでの不祥事<sup>ふしょうじ</sup>の比ではない。大相撲存亡<sup>そんぼう</sup>の危機だ。すべては日本相撲協会の対応にかかっている。実態の徹底解明と厳正な処分<sup>ばんぽん</sup>、加えて再生のための抜本的組織改革が必要。

断<sup>だん</sup>じて伝統の灯を消さぬため、重大な危機感を持ち全力を傾注<sup>けいちゅう</sup>すべし。

2011年2月4日『読売新聞』

## 単語

あけっぴろげ

【名・形動】敞开的,公开的,不隐内情和盘托出

八百長(やおちょう)

【名】(事先合谋的)假比赛;骗局

リーグ(league)

【名】联盟,联合

トーナメント(tournament)

【名】淘汰赛



## 注釈

### ① よみうり寸評

读卖短评。读卖新闻第1版上长期连载的专栏,早报的专栏是《編集手帳》,晚报的专栏是《よみうり寸評》,类似于朝日新闻的《天声人語》。

### ② ブラックソックス事件

黑球事件。1919年美国职业棒球甲级联赛时发生的丑闻。

### ③春場所

日本の相扑毎年分别在1月、3月、5月、7月、9月、11月要举行6场循环赛,每场比赛的正式名称、俗称和场地如下所示:

| 举办月份 | 正式名称  | 俗 称   | 举办场地     |
|------|-------|-------|----------|
| 1月   | 1月場所  | 初場所   | 両国国技館    |
| 3月   | 3月場所  | 春場所   | 大阪府立体育会館 |
| 5月   | 3月場所  | 夏場所   | 両国国技館    |
| 7月   | 7月場所  | 名古屋場所 | 愛知県体育館   |
| 9月   | 8月場所  | 秋場所   | 両国国技館    |
| 11月  | 11月場所 | 九州場所  | 福岡国際センター |



## 思考問題

1. 「そんな力士の存在が情けない。」と筆者は批判しているが、その理由を考えなさい。
2. 八百長について、筆者の主張をまとめてみなさい。

## (四) 産経抄

「東京で冬を過ごし始めたころは、毎日青空が見られてうれしかったけれど、そのうち腹が立ってきた。なんで東京の人だけこんなに恵まれているんだって」。新潟県の豪雪地帯出身の知人から、打ち明けられたことがある。

気象庁はきのうも東京都心などに、35日連続となる乾燥注意報を出した。史上2位の記録という。一方、北陸や東北地方の大雪は続き、雪下ろし中のお年寄りが屋根から転落死するなどの事故が相次いでいる。

この極端なまでの冬の気候の違いを、政治の世界で最大限に利用したのは田中角栄元首相だった。新潟県中部の小さな村で生まれた角栄少年は、雪のために死にかけた経験をもつ。自宅の屋根から落ちてきた雪の下敷きになったのだ。祖母が必死にふるった鍬が額に当たり、雪が真っ赤に染まっようやく見つけだされた。

元首相は若いころ、「越後山脈に風穴を開ければ、雪は東京に降って、新潟から出稼ぎに行く必要もなくなる」と地元でぶち上げた。壮大過ぎるプロジェクトは実現しなかったものの、新幹線や高速道路の建設など、元首相のいう「太平洋側と日本海側の格差の解消」に努めた。

今では、角栄型の利益誘導政治は否定されている。かといって、雪害にあえぐお年寄りを、見殺しにしていはいはずがない。きのうの主張欄では、困った人たちをみんなで助ける「共助」の仕組み作りを急ぐよう、提言していた。泉下の元首相はどう考えるだろうか。

屋根といえば、JR浦佐駅前に立つ元首相の銅像に、長女の真紀子衆院議員サイドの意向で、平成17年に屋根が取り付けられ話題になった。雪をかぶって地元の人たちを見守る姿の方が、元首相にふさわしい。

2011年2月4日『産経新聞』

 単語

雪下ろし(ゆきおろし)

ぶち上げる

あえぐ(喘ぐ)

見殺し(みごろし)

【名・自サ】铲除(房頂上の)积雪

【他一】说大话,夸海口

【自五】苦于,挣扎

【名】见死不救,坐视不救



## 注 釈

---

### ① 産経抄(さんけいしょう)

产经新闻第1版上长期连载的专栏,早报的专栏是《産経抄》,晚报的专栏是《笛》,类似于朝日新闻的《天声人語》。

### ② 越後山脈(えちごさんみゃく)

位于日本山形、福島、新潟三县境内的山脉。

### ③ 利益誘導政治(りえきゆうどうせいじ)

某政党或政治家为了维护政权,选举时拉选票、拉赞助,采用政治手段,为支持自己的地区或利益团体提供政策上的便利。这是政治腐败的一种形式,违反日本的公职选举法,一旦查明可以定“利益诱导罪”。



## 思考問題

---

1. 「極端なまでの冬の気候の違い」とあるが、その違いをまとめてみなさい。
2. このコラムを通して、筆者の主張したいことを考えなさい。



## 第2課 東京が世界の未来を拓く

クールジャパン(カッコいい日本)。世界が日本の大衆文化に注ぐまなざしです。発信地東京のさらなる力量が試されます。東京が世界を拓くのです。

昨年十月、週刊少年ジャンプを発行する集英社がトルコのイスタンブール現代美術館で漫画展を開き、反響を呼びました。人気作品の原画を展示したり作画工程を上映したりしました。小学生たちが先生に連れられて社会見学に訪れたというのですから驚きます。

### ジャポニズムの再来

周辺のイスラム諸国の潜在需要は高いとみて、集英社は手始めに親日国家トルコでの漫画の出版計画を立てているそうです。米国ではすでに八年前から英訳版の月刊少年ジャンプを出していて三十万部近くが売られています。

漫画やアニメ、ゲーム、映画や音楽、ファッションまで日本の大衆文化が世界を魅了し、クールジャパンと呼ばれています。バブルが崩壊して日本人がふさぎ込んでいるうちに芽生えた現象です。

今や「マンガ」や「オタク」は世界共通語です。東京・秋葉原を中心とした文化はインターネットの普及と相まって瞬く間に地球を駆け巡り、同好の国際コミュニティを誕生させました。

十九世紀半ば、陶磁器の包み紙に使われてフランスに渡った葛飾北斎の漫画が印象派の浮世絵ブームに火をつけ、ジャポニズムが欧米諸国を席卷したことはよく知られています。クールジャパン現象をその再来とみる向きは少なくありません。

水木しげる氏の漫画『のんのんばあとオレ』や滝田洋二郎監督の映画『おくりびと』が国際的に高く評価されたのは近年の象徴的な出来事です。

クールジャパンの呼び名は米国人ジャーナリストのダグラス・マッグレイ氏が「日本のグロス・ナショナル・クール」という論文を二〇〇二年に発表してから定着したようです。

## 支え合いの心を紡ぐ<sup>つむ</sup>

経済指標の国民総生産(GNP)になぞらえ、ポップカルチャーの力を示す指標としていわば国民総カッコよさ(GNC)を提唱したのです。

そんな日本の大衆文化を学ぼうと来日する外国人留学生がたくさんいます。

東京都内の宝塚大学<sup>たからづか</sup>大学院でアニメを専攻する中国人の馬穎寅(マーエイイン)さん(24)はクリエイターの先生になるのが目標です。文化産業<sup>あとお</sup>を後押しする中国では大学の多くにアニメのコースがあり、馬さんも学士の資格は上海で取得しました。

でも「日本人のこまやかな性格や生活習慣を知らないで、実力が身に付きません」と断言するのです。登場人物にどんな個性を与えるか。物語をどんな具合に運ぶか。いくら表現技術<sup>たふ</sup>が巧みでも、そこに魂<sup>たましい</sup>を吹き込む力を養<sup>やしな</sup>うには日本留学は不可欠だといいます。

同じように考える留学生は多いそうで、まるで日本人そのものが教科書のような存在なのです。

日本の漫画やアニメがなぜ政治や宗教、民族、慣習などが違う海外<sup>きやう</sup>で脚光<sup>あ</sup>を浴びるのでしょうか。

「日本的想像力の未来—クール・ジャパノロジーの可能性」(NHKブックス)によれば、美術作家の村上隆氏は「友情だったり愛情だったりを一人ひとりが共有できる」ことが作品のテーマとして貫かれていると指摘しています。

貧しさを背景に生み出された文化ゆえの、広く大衆の心をとらえようと絞り出された知恵だということです。

人気ゲーム「太鼓の達人」などを手掛けた宝塚大の川村順一<sup>かわむらじゅんいち</sup>教授は「日本は敵を倒して生き抜くという一神教の国ではなく、いわば八百万神<sup>やおよろずのかみ</sup>の国です。日本人の発想の根底には和を尊<sup>とうと</sup>ぶ思いが流れているようです」と見えています。

例えば、米軍は戦争ゲームをつくりネット上で配布<sup>はいふ</sup>して募兵<sup>ぼへい</sup>に利用しています。日本では反戦思想を基調とした戦争ゲームが好評を博しています。そんなところに一端<sup>いっぽう</sup>が表れているということです。

自然とどう共生し、異質とどう共存するか。グローバル化<sup>あらなみ</sup>の荒波は厳しい問いを世界に突きつけています。それに対し、人びとの支え合いの精神で立ち向かおうとする営みが日本の大衆文化の本質ではないかと思うのです。